平成 29 年度

自　己　評　価

「保育所保育指針」の第四章 保育の計画及び評価に保育士等と保育所の自己評価が努力義務として示されています。

『保育士等は、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない。

保育所は、保育士の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない』

※保育所保育指針第四章 保育の計画及び評価から引用

保育所保育指針に従い、三根みどり保育園では、年に１回、保育士等と保育所の自己評価を実施し、保育所の自己評価を公表しています。

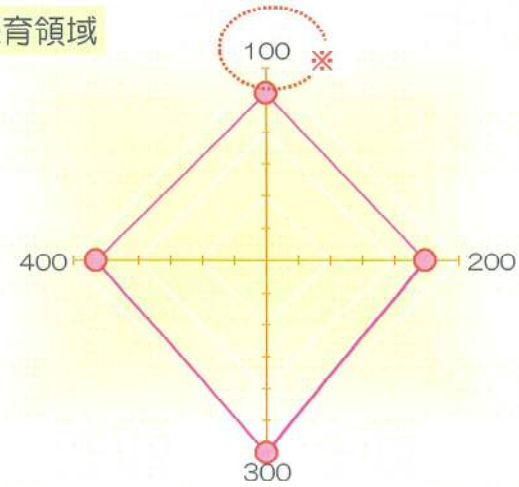
◇　保育士自己評価

自己評価提出日　2018 年 3 月 3 日

回答者数　23 名

◇　自己評価結果【全体の指標別平均値の分布】

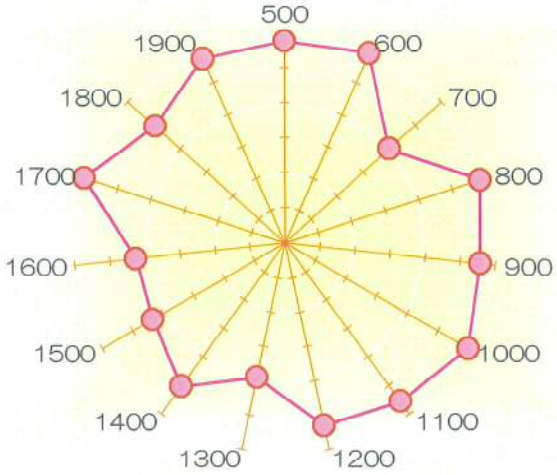
Ⅰ.保育領域



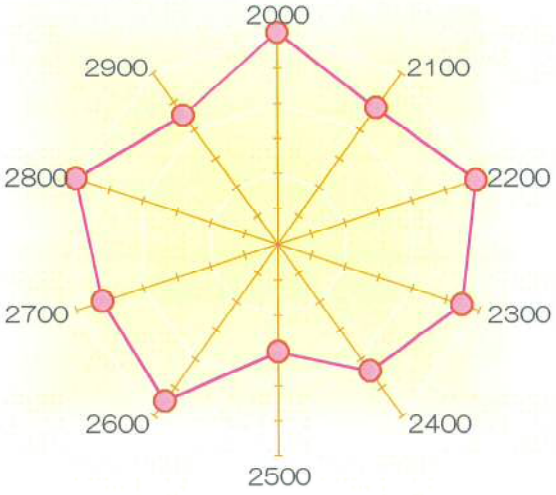
※ 評価項目の項目番号を示します

※※ このチャート表は、各項目の評価結果A・B・Cをそれぞれ、3点・2点・1点に換算して、園全体の平均値を算出したものです。

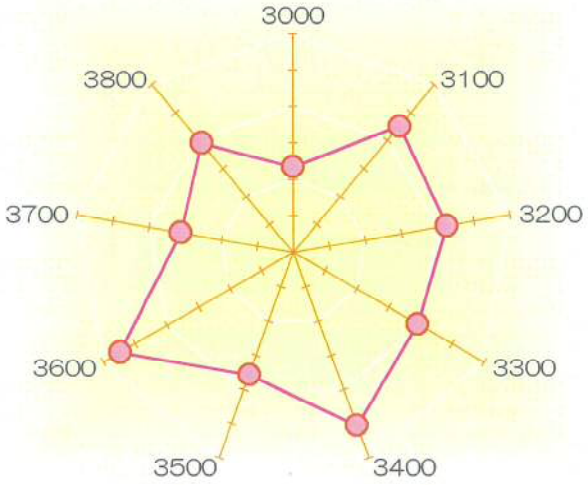
Ⅱ子どもの発達援助



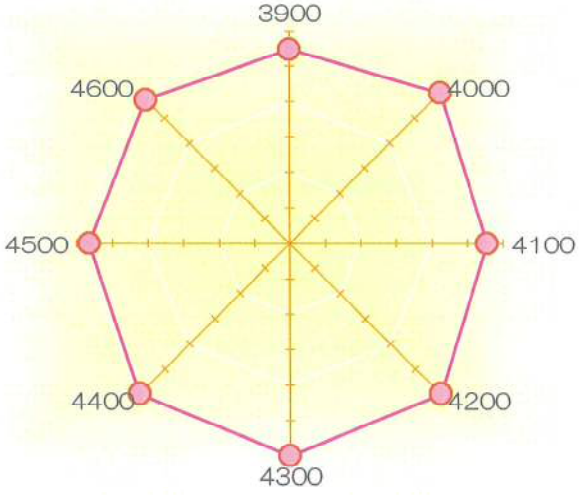
Ⅲ保護者に対する支援



Ⅳ保育を支える組織的基盤

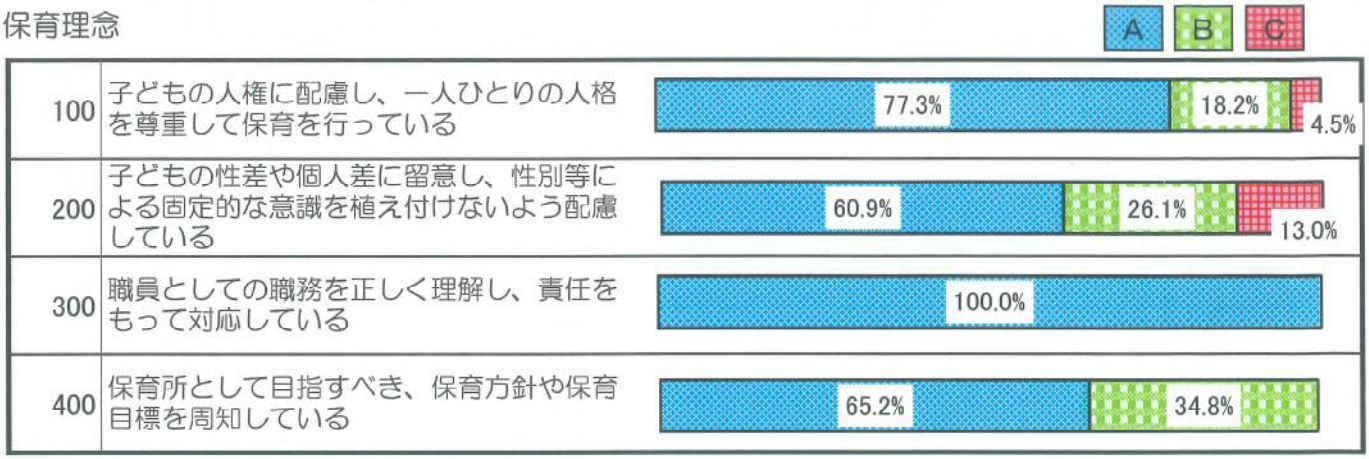


Ⅴその他

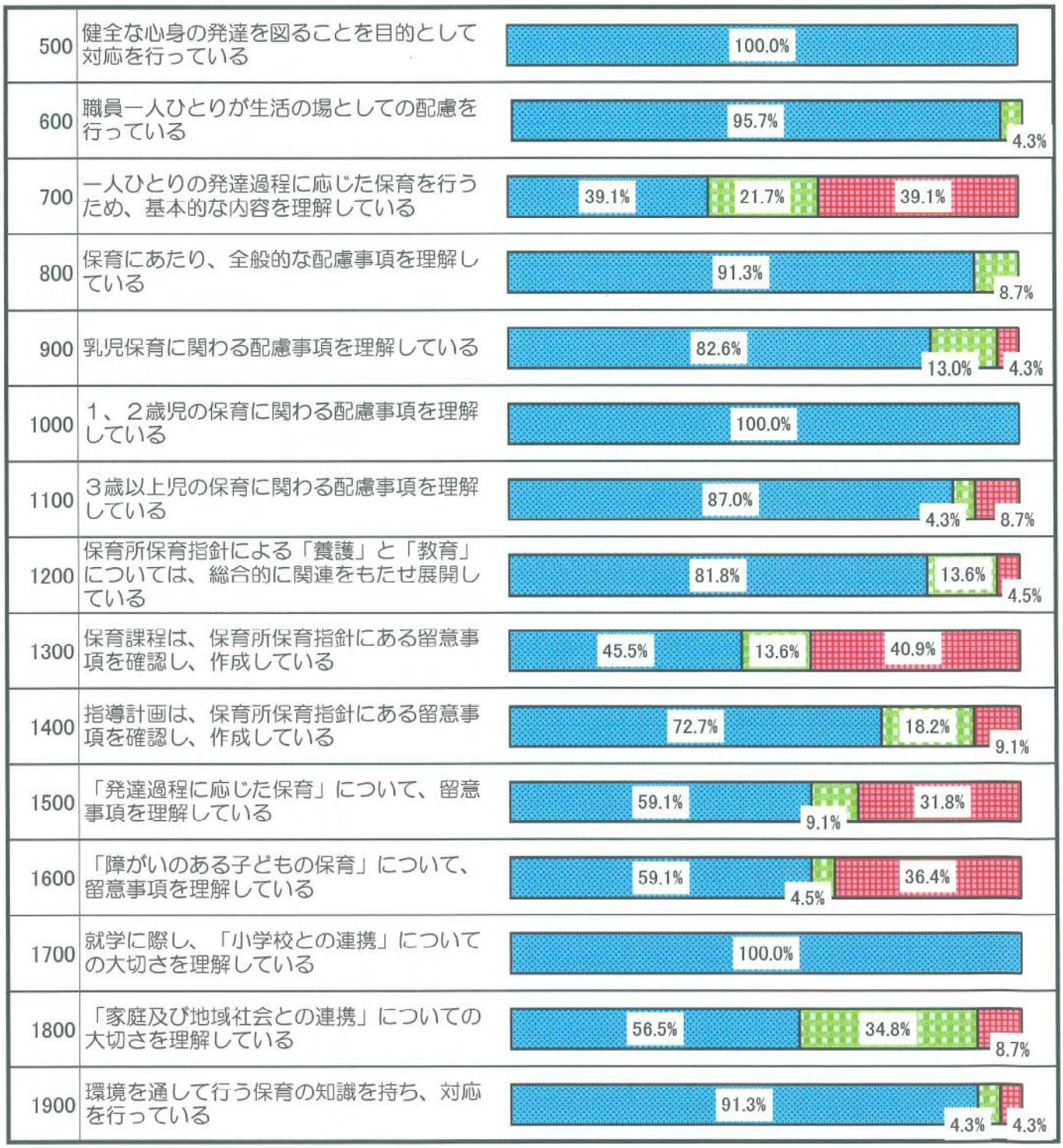


◇　個人別自己評価結果【評点の全体分布】

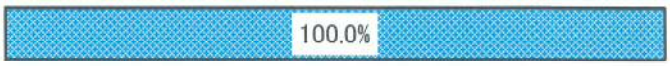
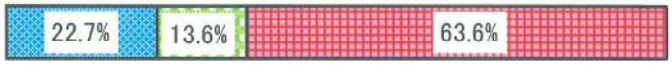
Ⅰ保育理念



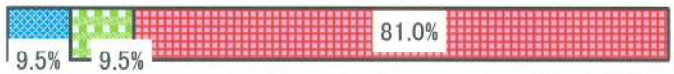
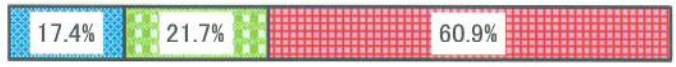
Ⅱ子どもの発達援助



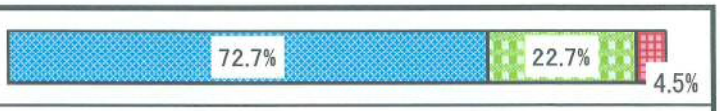
Ⅲ保護者に対する支援

2000	保護者には積極的に接するよう配慮している	
2100	保護者への情報提供や情報収集を積極的に行っている	
2200	保護者からの相談には可能な限り積極的に対応している	
2300	保護者懇談会や保育参観を実施している	
2400	保護者が行事に参加しやすいように配慮し、設定している	
2500	地域の子育て支援のニーズの把握に取り組んでいる	
2600	子育て家庭への保育所機能や設備の開放を行っている	
2700	子育てなどに関する相談や援助を行っている	
2800	一時保育を行っている	
2900	職員会議などが定期的に行われ、重要事項の決定や職員への周知の面で機能している	

Ⅳ保育を支える組織的基盤

3000	事故やけがの予防に取り組んでいる	
3100	防災対策に取り組んでいる	
3200	事故や感染症などの発生に備え、必要な知識や対応策を具体的に確認している	
3300	外部からの不審者侵入など、不測の事態に備えている	
3400	定期的に自己評価を行い、振り返りを行っている	
3500	研修制度を活用し、積極的に参加している	
3600	職員として相談しやすい環境づくり	
3700	法令などを正しく理解し、遵守している	
3800	苦情解決のしくみを構築し、取り組んでいる	

Ⅴその他

3900	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、食育に取り組んでいる	
4000	接遇について、基本的な配慮事項を理解している	
4100	適切な電話応対を心がけている	
4200	言葉遣いに配慮している	
4300	職員として適切な服装などを心がけている	
4400	人と接する態度に配慮している	
4500	職員同士（同僚）との関係を大切にしている	
4600	職場内のルールやマナーを守っている	